

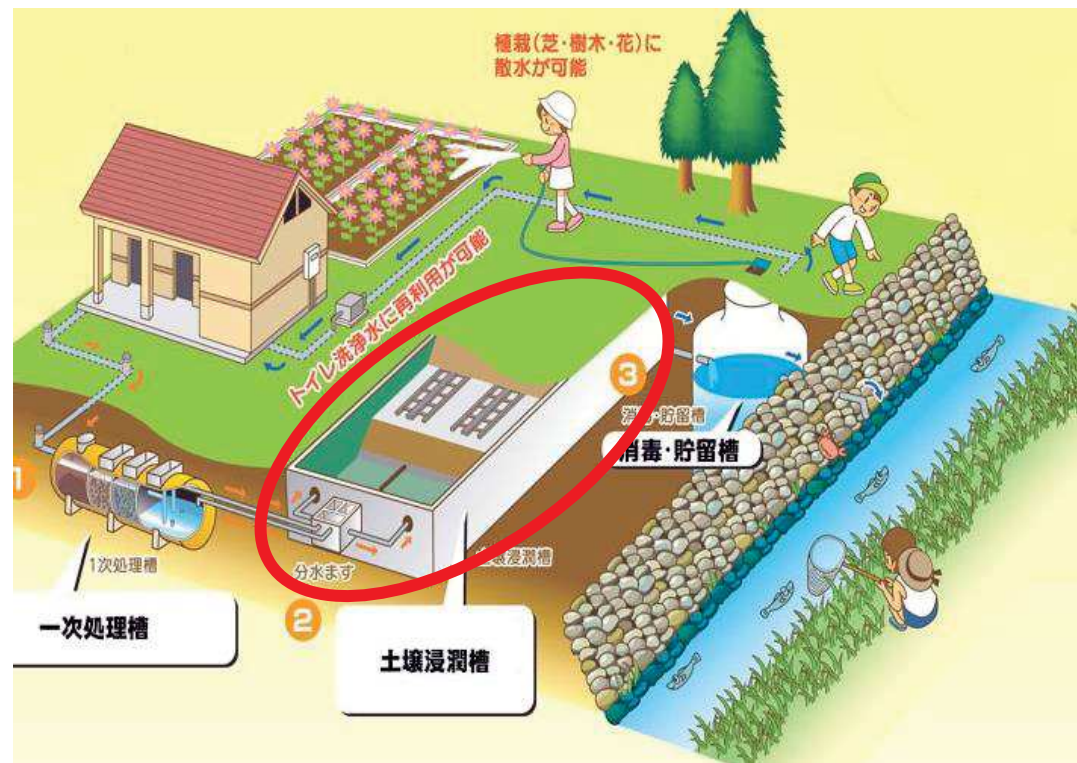
プロジェクト名

循環利用可能な汚水処理装置に太陽光発電を付帯させ、  
県内で新たに製造・販売を行う事業

国内最高水準の汚水処理技術を、本土から沖縄へ。  
そして、沖縄オリジナル技術を追加し市場参入させる。



## 商品説明(1)



商品名は「ソフィール」

天然土壌を利用したトイレ汚水のエコ型浄化技術です。

国内トップレベルの浄化性能を誇ります。

下水を水道水基準まで浄化する実験にも成功済み。

ソフィールが、

国内の国定公園・世界ジオパーク等の観光地・公園に  
既に160カ所以上導入されている理由。

浄化能力が高い  
(処理水がきれい)

①浄化水をトイレに再利用(循環利用)するため、  
上・下水道のインフラが不要。

②循環利用のため汚水処理水を河川等に放流しない。  
環境保全や生態系の維持が可能になる。

省エネで稼働する

③他社製品比較で、電気使用量1/10。  
太陽光発電等の自主電源で稼働が可能。

メンテナンスが簡易

④土壌の浄化能力と微生物の汚物分解機能で  
土壌浄化槽は半永久的にフリーメンテナンスで稼働。

⑤土壌浄化システムで国内4特許・国土交通省認定・NETIS取得はソフィールのみ。

ソフィールの県内ターゲットとコンセプト。  
 県内の観光施設・公園への導入をはかり、  
 観光客や県民に清潔な衛生施設(トイレ)を提供。  
 又、県内の豊かな自然環境保全の一翼を担う。

自然公園

民間観光施設

広域避難指定公園

省エネ型公共施設

農家レストラン・道の駅等の6次産業施設

導入実績一例



世界ジオパーク  
大山隠岐国立公園



世界遺産  
小笠原国立公園



黒島(竹富町)  
博物展示施設改修

沖縄での実績は、  
平成22年度の  
九州地方環境事  
務所事業の  
竹島町1件である。